第10回研究会テキスト

人工衛星に使用するパワーデバイスの宇宙線耐量

Failure rate calculation method for power semiconductors for space application

大村 一郎

Erdenebaatar Dashdondog 九州工業大学、北九州市若松区ひびきの2番4号(〒808-0196)

omura@ele.kyutech.ac.jp

概要

パワー半導体の高性能化が進むにつれ、パワー半導体の宇宙線破壊が問題となり、1990 年代半ばに 詳細に研究された結果、実験的に得られた設計カーブにより高信頼なデバイスの設計が可能になった。 しかし最近、国際宇宙ステーションや人工衛星などの宇宙環境で用いる機器の消費電力が上昇し、電源 の高電圧化が検討されているなかで、改めてパワーデバイスの宇宙線破壊が問題になってくる可能性が 出てきた。

前述の地上でのデバイス利用を前提とした宇宙線破壊現象の解析では、地上での実験により検討を行 うことができるため比較的容易に故障率の計算ができるようになっている。ところが宇宙利用の場合、 高エネルギー粒子のエネルギーに対する確率分布(スペクトル)が異なるため、地上での実験結果を活 用することができない。このため全く新しい、汎用的な故障率計算方法の確立が必須である。

本研究では、故障率の汎用計算式を導出し高エネルギー粒子のフラックス、高エネルギー粒子が発生 する電荷の分布関数、さらに電荷が引き起こす破壊、の3つの観点から定式化を行い、それぞれの関数 を人工衛星に関する研究論文、核物理に関する論文、さらに TCAD による破壊シミュレーションを組み 合わせで求めた。さらに提案式で実際に低軌道人工衛星での 3.3 k V PiN ダイオードの故障率を計算した。

今回提案した手法では、パワーデバイスで初めて宇宙線破壊断面積(SEB cross section)の計算を可 能にし、一度この関数が求まれば、あらゆる高エネルギー粒子のフラックススペクトルに対して容易に 故障率を計算することができる。将来、この式をさらにブラッシュアップし、広く汎用的に使われるよ うにパラメータ関数の基礎データを集め、計算プログラムの確立していきたい。

本報告は、下記の博士論文の内容を説明したものである。

Erdenebaatar Dashdondog, "Failure Rate Calculation Method for High Voltage Semiconductor Devices under Space Radiation Environments" 九州工業大学 博士論文 2017





Kyutech

人工衛星に使用するパワーデバイスの

宇宙線耐量

九州工業大学 大村一郎 ERDENEBAATAR DASHDONDOG



- 1. Introduction
 - ✓ Power Demand Increase in Spacecraft
 - ✓ Requirement of Bus Voltage Increase
 - ✓ Issues in High Voltage Power Device in Spacecraft
- 2. Cosmic Ray Induced failure in Power Device
 - ✓ Reason and mechanism
- 3. Failure Rate Calculation Formula for Space Use Power Device Design
 - ✓ Propose of General Formula for Failure Rate Calculation
 - ✓ High Energy Particle (Proton) Flux Distribution Function
 - ✓ Energy (Charge) Deposition Probability Density Function
 - Device Destruction Charge for Applied Voltage
- 4. Calculation Results for 3.3kV PiN diode for Low Orbit
- 5. Conclusions



Power Demand in SPACE

Sputnik to International Space Station

SPUTNIK 1



Launch October 4, 1957
83kg; bit bigger than soccer ball
Electrical Power ~1W
~3 weeks





Power and Voltage in SPACECRAFT









Ep

9

Charge deposition probability distribution function for **300um** silicon with proton energy as a parameter







Single Event Failure Phenomena



Burnout Condition based on avalanche phenomena





10



12





